

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	経理ビジネス学科	夜・通信	1,220 時間	160 時間	
	情報ビジネス学科	夜・通信	1,120 時間	160 時間	
	医療事務学科	夜・通信	500 時間	160 時間	
	会計専攻学科	夜・通信	210 時間	80 時間	
文化・教養専門課程	公務員学科2年制	夜・通信	170 時間	160 時間	※
	公務員学科1年制	夜・通信	100 時間	80 時間	※
	スポーツ学科	夜・通信	1,180 時間	160 時間	
教育・社会福祉専門課程	こども保育学科	夜・通信	1,815 時間	160 時間	
	保育専攻学科	夜・通信	80 時間	80 時間	
	介護福祉学科	夜・通信	2,104 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校法人大原学園HPにて公開している。 掲載URL : https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 公務員学科2年制、公務員学科1年制
(困難である理由) 当校の公務員学科2年制及び公務員学科1年制は、公務員を目指す学科であり、入学生のほぼ全員が官公庁事務職もしくは警察消防等の公安職への就職を希望しております。

公務員の実務には、守秘性が高いものが多く、また、警察消防等の公安職には危険度の高い専門的な業務等もあり、これらの公務員の実務を学ぶことは実際困難であると考えております。公務員等採用試験に於いても、実務経験やスキルが求められることがなく、必要条件とも望ましい条件ともされておられません。

公務員等採用試験に合格するためには、必要な教養科目及び専門科目の知識を身に着けることが不可欠であり、当校では、公務員試験に向けての知識の習得に多くの時間を割り振っております。当該学科における「実務経験のある教員」としては、公務員が想定されますが、上記の科目知識習得のための授業の教員としては、公務員である必要はないと考えております。

以上の理由のため、学科及び分野の特性等により、実務経験のある教員等による授業科目を配置することは困難であると考えております。

しかしながら、実務家による授業には利点も多いため、できるだけ実施出来るように努力している最中です。入学後、官公庁研究や自治体の動き等、卒業後を見越した演習や実習も取り入れ、実践教育にも力を入れております。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人大原学園HPにて公開している。
掲載URL：https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	法人運営における 法務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代 表	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	学生募集、教材開発 への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
設置者名	学校法人 大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1. 作成について</p> <p>授業計画(シラバス)は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科・コースの担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を参考にしながら各授業科目の内容に反映させている。</p> <p>授業計画(シラバス)の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。</p> <p>2. 作成・公表の時期について</p> <p>年間計画に基づき、教育課程編成委員会での意見収集、反映させた上で、前年度中に作成を行い、新年度開始前までにHPを通じて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校法人大原学園HPにて公開している。</p> <p>https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則に規定する履修、学業成績、進級および卒業要件に基づき各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。なお、学生に対しては学生便覧を用いて周知を図っている。</p> <p>(1) 学業成績は各科目の授業計画書(シラバス)の「成績評価方法」の記載に則って評価を行う。評価の対象については、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により単元テスト、答案練習、授業内に行う効果測定、課題の提出、出席等とする。</p> <p>(2) 学科ごとの履修科目については、既定の成績を満たさない者に対し補講への参加、追試験の受験を義務付け、全ての履修科目に関する知識・技術を習得するものとする。</p> <p>(3) 学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は50点未満とする。</p> <p>(4) 各科目の成績で、優、良、可を取得した学生には当該科目の履修を認定する。</p> <p>(5) 学業成績は定期的にまたは必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。</p> <p>(6) 全ての授業科目において、出席・欠席・遅刻・早退を記録する。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業の達成度を客観的に評価するための指標として100点方式(満点を100点として換算する)を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では平均点を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として活用している。この客観的な成績評価指標についてはHPで公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。</p> <p>なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。</p> <p>(1) 学業成績の判定は、「優・良・可・不可」の4種で判定し、「優・良・可」を合格(認定)とし「不可」は不合格(不許可)とする。また、授業科目の成績は、前項の4種で表す。</p> <p>(2) 不合格の科目については、特別試験を行い、基準点に達した場合に合格とする。</p> <p>(3) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、「優・良・可」を取得した学生には所定の認定を与える。</p> <p>(4) やむを得ない事情により、授業科目ごとに行う試験を受験できなかった場合、追試験または再試験などを実施する場合がある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。</p> <p>(5) 試験内容や判定基準は、学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校法人大原学園HPにて公開している。 掲載URL： https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、学則に教育目的として「簿記会計、税務会計、情報処理、医療事務の商業実務分野、公務員、スポーツ関連の文化・教養分野、福祉・保育人材育成の教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な産業人を育成することを目的とする。」を掲げて教育を行っている。</p> <p>卒業要件については、当校の各課程において下記に定める授業時間数以上を履修し、かつその該当する授業科目について各学年末における試験に合格して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p> <p>(1) 商業実務専門課程 経理ビジネス学科 1, 700時間 (2) 商業実務専門課程 情報ビジネス学科 1, 700時間 (3) 商業実務課程専門 医療事務学科 1, 700時間 (4) 商業実務専門課程 会計専攻学科 850時間 (5) 文化・教養専門課程 公務員学科(2年制) 1, 700時間 (6) 文化・教養専門課程 公務員学科(1年制) 850時間 (7) 文化・教養専門課程 スポーツ学科 1, 700時間 (8) 教育・社会福祉専門課程 こども保育学科 1, 710時間 (9) 教育・社会福祉専門課程 保育専攻学科 850時間 (10) 教育・社会福祉専門課程 介護福祉学科 2, 044時間</p> <p>なお、詳細については学生便覧等に規定しており、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学生に配布する「学生便覧」において公表。大原学園HPでの公表： https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	掲載URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	経理ビジネス学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間/単位	2,690 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位	1,630 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/ 単位
			4,920 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
152人	158人	0人	10人の内数	0人	10人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 学修支援等
（概要） 長期欠席者への指導等の対応、保護者への連絡および通知 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
80人 (100%)	2人 (2.5%)	78人 (97.5%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） （株）京王アカウンティング、東京地下鉄（株）、（株）エイチ・アイ・エス、（株）プリンスホテル、 森永ビジネスパートナー（株）、（株）セブン-イレブン・ジャパン 等			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、就職ゼミ担当 による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日商簿記検定、ITパスポート、MOS、電卓、漢字 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
158 人	4 人	2.5%
(中途退学の主な理由) 経済的問題 (学費の工面が厳しくなったため)、転科によるもの		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、3者面談、転科の実施 等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	情報ビジネス学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間/単位	2,690 単位時間/単位	600 単位時間/単位	1,630 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			4,920 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
74人	34人	0人	10人の内数	0人	10人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 長期欠席者への指導等の対応、保護者への連絡および通知 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100.0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 富士ソフト(株)、(株)共栄システムズ、(株)第一コンピュータサービス 等			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、就職ゼミ担当による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ITパスポート、MOS、基本情報技術者、日商簿記検定、電卓、漢字 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、3者面談、転科の実施 等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	医療事務学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間/単位	1,800 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	670 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,370 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
76人	105人	0人	4人	0人	4人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 長期欠席者への指導等の対応 保護者への連絡および通知 など

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
54人 (100%)	0人 (0.0%)	54人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 慶應義塾大学病院、学校法人慈恵大学、医療法人新愛会 東府中病院、 医療法人社団永生会 南多摩病院など			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、 就職ゼミ担当による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 医療請求事務検定1級、医療秘書実務検定2級、日商簿記3級、初任者研修、 MOS等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
105 人	4 人	3.8%
(中途退学の主な理由) 経済的問題 (学費の工面が厳しくなったため)、転科によるもの		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、3者面談、 転科の実施 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	会計専攻学科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	850 単位時間/単位	1,220 単位時間 /単位	1,840 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,060 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
36人	0人	0人	10人の内数	0人	10人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 長期欠席者への指導等の対応 保護者への連絡および通知 など

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 税理士法人、税理士事務所 など			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、 就職ゼミ担当による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 簿記論、財務諸表論、消費税法、法人税法 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 経済的問題(学費の工面が厳しくなったため)、転科によるもの		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、3者面談、 転科の実施 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	公務員学科2年制	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間/単位	1,930 単位時間/単位	980 単位時間/単位	1,260 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			4,170 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
312人	341人	0人	11人の内数	0人	11人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者との連携等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
149人 (100%)	3人 (2.0%)	146人 (98.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 各種国家公務員、各地方自治体など			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での公務員試験ガイダンスを実施 個別受験指導・面接トレーニングなど			
（主な学修成果（資格・検定等）） 一般教養力検定2級、一般教養力検定1級、漢字、電卓等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
341 人	8 人	2.3%
(中途退学の主な理由) 経済的問題(学費の工面が厳しくなったため)、公務員中途採用、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、3者面談、 転科の実施 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	公務員学科1年制	—	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	850 単位時間/単位	710 単位時間/単位	260 単位時間/単位	310 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,280 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
78人	88人	0人	11人の内数	0人	11人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者との連携等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
78人 (100%)	3人 (3.8%)	75人 (96.2%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 各種国家公務員、各地方自治体など			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での公務員試験ガイダンスを実施 個別受験指導・面接トレーニングなど			
（主な学修成果（資格・検定等）） 漢字等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	10 人	11.4%
(中途退学の主な理由) 経済的問題(学費の工面が厳しくなったため)、公務員中途採用、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、3者面談、 転科の実施 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	スポーツ学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間/単位	2,510 単位時間/単位	1,530 単位時間/単位	160 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			4,200 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
74人の内数	13人	0人	11人の内数	0人	11人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者との連携等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スポーツ業界 など			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、就職ゼミ担当による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 販売士検定、スクーバダイビングライセンス、MOS、電卓、漢字 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由) 経済的問題 (学費の工面が厳しくなったため)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、3者面談、 転科の実施 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会 福祉	教育社会福祉 専門課程	こども保育学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	750 単位時間 /単位	1,470 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	30 単位時間 /単位
			2,490 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	122人	0人	8人	6人	14人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータル サイトでの連絡、個人面談、保護者との連携等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
53人 (100%)	1人 (1.9%)	50人 (94.3%)	2人 (3.8%)
(主な就職、業界等) 社会福祉法人 雲柱社、グローバルキッズ、こどもの森グループ、社会福祉法人 東 京都社会福祉事業団、社会福祉法人 至誠学舎立川 など			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、就職ゼミ 担当による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 保育士、おもちゃインストラクター、レクリエーションインストラクター等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
122 人	13 人	10.7%
(中途退学の主な理由) 経済的問題 (学費の工面が厳しくなったため) による進路変更、病気治療、学業不振、学校生活への不適合 など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、3者面談 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会 福祉	教育社会福祉 専門課程	保育専攻学科	—	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	850 単位時間/単位	270 単位時間 /単位	890 単位時間 /単位	80 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/ 単位
			1,240			単位時間/単位	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
38人	0人	0人	8人の内数	0人	8人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者との連携等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 幼稚園、保育所、児童福祉施設 など			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、就職ゼミ担当による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 幼稚園教諭			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子(出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等)をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会 福祉	教育社会福祉 専門課程	介護福祉学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,044 単位時間/単位	1,066 単位時間 /単位	940 単位時間 /単位	456 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,464 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70人	26人	0人	3人	2人	5人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 長期欠席者への指導等の対応 保護者への連絡および通知 等

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	1人 (10.0%)	9人 (90.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 社会福祉法人多摩養育園 社会福祉法人清明会 社会福祉法人多摩済生医療団多摩済生園 社会福祉法人恵比寿会特別養護老人ホームフェローホームズ など			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー 個別指導・面接トレーニングなど			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 介護福祉士 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26 人	2 人	7.7%
(中途退学の主な理由) 病気治療 など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者、キャリアカウンセラーによる定期面談、保護者への定期連絡、3者面談 など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
経理ビジネス学科2年制	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
情報ビジネス学科2年制	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
医療事務学科2年制	200,000 円	680,000 円	290,000 円	
会計専攻学科1年制	200,000 円	680,000 円	340,000 円	
公務員学科2年制	200,000 円	680,000 円	340,000 円	
公務員学科1年制	200,000 円	680,000 円	340,000 円	
スポーツ学科2年制	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
こども保育学科2年制	200,000 円	680,000 円	240,000 円	
保育専攻学科1年制	200,000 円	680,000 円	240,000 円	
介護福祉学科2年制	200,000 円	680,000 円	380,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP 上に公開 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 IT 産業懇話会 講師部会副部会長	2020. 4. 1. ～ 2022. 3. 31	専門分野における業界 関係者
小山均税理士事務所 所長	2020. 4. 1. ～ 2022. 3. 31	専門分野における業界 関係者
日本エルダリーケアサービス なごみ 在宅介護サービス日野 センター長	2020. 4. 1. ～ 2022. 3. 31	専門分野における業界 関係者
行政書士山本直哉事務所 所長	2020. 4. 1. ～ 2022. 3. 31	専門分野における業界 関係者
医療法人社団桐光会調布病院 医事課課長	2020. 4. 1. ～ 2022. 3. 31	専門分野における業界 関係者
社会福祉法人 至誠学舎立川 諏訪の森保育園 園長	2020. 4. 1. ～ 2022. 3. 31	専門分野における業界 関係者
立川市商店街連合会 副理事長	2020. 4. 1. ～ 2022. 3. 31	地域住民
株式会社 HuCAM (慶応義塾大学病 院)	2020. 4. 1. ～ 2022. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP 上に公開 https://www.o-hara.ac.jp/about/jissen/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 大原学園グループ 掲載 URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。